



オリンピック・パラリンピック暑熱環境測定事業

2019年度予算(案)
37百万円(30百万円)

水・大気環境局
大気生活環境室

背景・目的

事業目的・概要等

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間は一年でも特に暑い時期(7/24-9/6)。
- ・大会会期中は日本の夏に不慣れな外国人を含む多数の観客が来訪。競技会場への移動、入場待機、観戦時などに多数が屋外で長時間を過ごすこととなり熱中症対策が必須。
- ・そのため熱中症のかかりやすさを示す暑さ指数を把握し、適切な予防的対策に資する。

事業概要

(1)主要競技会場周辺等の17地区程度を対象に気温、湿度等を実測調査

(2)主要競技会場周辺等の17地区程度の暑さ指数の推計手法を確立

事業スキーム



期待される効果

※環境省熱中症予防情報サイトで暑さ指数を提供している既存の地点と、本事業の測定により、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の全競技会場(43会場)周辺の暑さ指数を把握。

イメージ

①オリパラ大会の会場関連施設整備等の検討のための基礎情報として関係各機関において活用

②熱中症対策として、特にリスクの高い場所での暑さ指数の推計手法を確立し、大会開催期間の熱中症予防情報の発信において活用。

現在の実測状況

